

市立保育所民間移管事業の事業検証報告について

1 趣旨

市立保育所民間移管事業では、平成16年度の事業開始以降、3年毎に検証を行いながら事業を進め、令和2年度までに、55園を移管しました。この間、平成26年9月にネットワーク事務局園54園を公表し、それ以外の市立園を移管等の対象としたことを受け、27年2月に今後の事業計画を策定しました。

今回の検証では、30～31（令和元）年度の移管園関係者に対してアンケートを行うとともに、法人選考委員や法人募集説明会参加法人に対するアンケートを実施しました。

また、今後の移管予定園（令和5～6年度移管）については、移管にあたって配慮事項のある園が含まれていることから、併せて、その方向性についても検討しました。

2 事業概要

(1) 事業目的

- ア 民間保育所のもつ柔軟性や効率性を活かして、保育の質を確保しながら、多様な保育ニーズに迅速かつ効率的に対応します。
- イ 民間の力の活用による保育所の施設整備を通じて、保育環境の改善、地域子育て支援の充実に向けた取組を推進します。

(2) 事業計画に基づく今後の移管等対象園

事業計画は令和6年度までとなっており、3年度以降の移管等対象園は15園です。なお、5年度までの移管予定園は公表しています。

移管等対象園（園名は行政区順 “保育園” の表記は省略） ※ 丸数字は移管年度
④三春台（南）、④野庭、上大岡東（港南）、⑤向台（保土ヶ谷）、④白根（旭）、③滝頭（磯子）、③釜利谷（金沢）、③菊名（港北）、④竹山（緑）、③荏田北（青葉）、③茅ヶ崎（都筑）、③俣野、⑤舞岡（戸塚）、⑤上郷、公田（栄）

3 検証の内容・方法

(1) 本事業に関する検証

- ア 平成30～31（令和元）年度移管の振り返り
 - (ア) 移管園関係者へのアンケートの実施
 - a 保護者
 - b 移管先法人
 - c 引継ぎ・共同保育時に移管園に勤務していた市立園職員
 - (イ) 法人選考委員による実地調査、施設長へのヒアリング
- イ 法人選考委員による振り返り
 法人選考委員に対する事業全体に関するアンケートの実施
- ウ 民間移管事業に対する意向調査
 令和2～4年度移管にかかる法人募集説明会参加法人へのアンケートの実施

- (2) 令和5～6年度移管等対象園の方向性について
 令和5～6年度移管予定園の今後の方向性を検討

4 移管後の運営状況等

(1) 多様な保育ニーズへの対応

- ア 開所時間の延長、土曜給食提供 ⇒ **既移管園55園全園で実施**
- イ 一時保育 ⇒ **43園で実施**（移管後3年以内を目途に実施）
- ウ その他：民間法人ならではの行事の導入等の取組
 お泊り保育、バス遠足、サッカー教室 等

(2) 民間の力の活用による保育環境改善等

- ア 老朽改築事業等の実績
24件
- イ 中規模修繕事業の実績（上限500万円の2/3補助事業）
54件（トイレ改修、空調改修、厨房設備改修 等）
- ウ その他
 調理設備の部分的な改修、備品の更新等について、園ごとに柔軟に対応

(3) 運営の効率化

	平成16～令和2年度移管分(単年度合計)	累 計
縮減額	約 11 億 4,300 万円	約 104 億 2,400 万円

5 本事業に関する検証結果

(1) 平成30～31（令和元）年度移管の振り返り

ア 保護者の満足度

【アンケート実施時期】移管1年目の11月～12月

【対象者】平成30～31（令和元）年度移管園（7園）に在園する全児童の保護者

【配付世帯数】444世帯

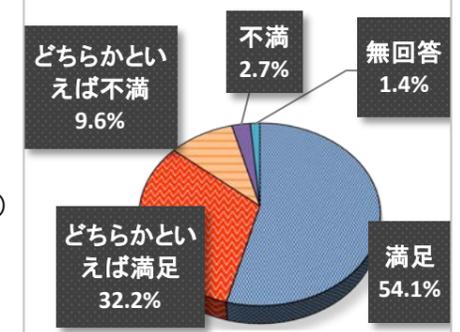
【回答世帯数】146世帯（回収率 32.9%）

(ア) 総合的満足度

「満足」「どちらかといえば満足」：**86.3%**
 （前回 86.2%）

（参考：前回検証）

- ・満足：45.5% ・どちらかといえば満足：40.7%
- ・どちらかといえば不満：8.1% ・不満：3.7%
- ・無回答：2.0%



(イ) 移管の進め方に関する評価 「ちょうどよい」と回答した保護者の割合

- ・移管園公表から移管までの期間（2年6か月）・・・74.1%（前回 72.7%）
- ・引継ぎの期間（1年間）・・・・・・・・・・・・・・73.2%（前回 71.3%）
- ・共同保育の期間（3か月）・・・・・・・・・・・・・・60.7%（前回 52.4%）

イ 移管先7法人 アンケート意見（抜粋）

- ・ 施設の老朽化が著しく、移管直後から修繕が必要。
- ・ 共同保育の期間はちょうどよいが、3月は新年度の準備に時間を充てたい。
- ・ こまめにHPを確認するわけではないため、（法人募集説明会について）郵送による案内があつてよかった。

ウ 市立園職員のアンケート意見（抜粋）

- ・ 移管までの期間について、無理なく準備を進められてちょうどよい。
- ・ 法人側の職員とゆっくり話す機会が欲しかった。
- ・ 移管後も色々な人の目で見守っていくことは大切。

エ 法人選考委員による実地調査、施設長へのヒアリング（抜粋）

- ・ 市立保育園の保育や地域との関係を継承しつつ、移管先法人の良い部分は日常の保育に生かしている様子がうかがえた。
- ・ この実地調査・施設長ヒアリングを通じて、第三者の視点による移管後の状況や課題等の洗い出しを行い、移管園の園運営が一層安定するよう必要な支援を行っていくべき。

(2) 法人選考委員に対する事業全体に関するアンケート結果（抜粋）

- ・ （選考委員による移管予定園訪問は）保護者の不安を取り除くため有用であり、丁寧な選考を行う上でも欠かせない。
- ・ 選考基準や評価項目は現行通りがよい。
- ・ 保育の質の維持・向上のため、継続的な支援や研修が必要である。

(3) 説明会参加法人の民間移管事業への意向に関するアンケート結果

- ・ 土地・建物の整備の必要が無い点が、法人にとってのメリット。
- ・ 人材確保が難しいため、応募に踏み切れない。

6 令和5～6年度移管等対象園の方向性について

令和5～6年度移管（第7期）については、配慮事項のある移管等対象園が含まれているため、その方向性について検討しました。

(1) 令和5～6年度（第7期）移管等対象園

ア 令和5年度移管予定園

- ・ 向台保育園（保土ヶ谷区）
- ・ 舞岡保育園（戸塚区）
- ・ 上郷保育園（栄区）

イ 令和6年度移管予定園

- ・ 上大岡東保育園（港南区）
- ・ 釜利谷保育園（金沢区）

ウ これまでの手法（※）による民間移管が難しい園

- ・ 菊名保育園（港北区）
- ・ 公田保育園（栄区）

（※）土地：無償貸付 建物：有償譲渡（不動産鑑定評価額の1/4）

(2) これまでの手法による民間移管が難しい園について

菊名・公田の2園については、以下の個別事情のため、これまでの手法による民間移管が困難な状況となっています。

【該当園の状況】

園名	状況
菊名保育園	「建て替え」や「大規模修繕」の実施については、合築施設であることから、施設全体での対応が必要であり、法人単独の判断で保育所部分のみの建て替え等を実施することができない状況です。
公田保育園	「建て替え」や「大規模修繕」の実施については、園舎が立地している団地全体で建築基準法の基準に適合する必要があるため、法人単独の判断で行うことができない状況です。

このため、菊名・公田の2園については引き続き今後の対応について検討してまいります。

7 民間移管事業の今後について

本事業の計画は終盤を迎えており、移管等の対象となっている園に対しては、引き続き、関係される皆様に対し、十分な説明と適切な情報提供を行い、様々な御意見をいただきながら、丁寧に進めていきます。

また、優良な法人を移管先法人として選定することが円滑な民間移管につながることから、引き続き、優良法人確保のため、移管予定園等の情報提供に努めていきます。

【参考】既移管園一覧（園名は市立園当時のもの） 令和2年4月時点（55園）

区名	園名（保育園の表記は省略） ※ 丸数字は移管年度
鶴見	矢向 ^⑱ 、駒岡 ^⑳ 、生麦 ^㉑
神奈川	菅田 ^㉒
南	六ツ川西 ^⑳ 、六ツ川 ^㉑ 、清水ヶ丘 ^㉒
港南	丸山台 ^⑱ 、日野 ^⑲ 、下永谷 ^㉓ 、上永谷東 ^㉔ 、南日野 ^㉕ 、笹下 ^㉖ 、港南台 ^㉗ 、上永谷西 ^㉘ 、笹下南 ^㉙
保土ヶ谷	千丸台 ^⑳ 、新桜ヶ丘 ^㉑ 、境木 ^㉒ 、保土ヶ谷 ^㉓ 、川島 ^㉔
旭	鶴ヶ峰 ^⑱ 、中希望が丘 ^⑲ 、善部 ^㉑ 、西川島 ^㉒ 、中尾 ^㉓ 、若葉台 ^㉔ 、川井宿 ^㉕
磯子	洋光台 ^㉑ 、杉田 ^㉒
金沢	谷津 ^⑳ 、並木第三 ^㉑ 、西柴 ^㉒ 、北六浦 ^㉓ 、並木第二 ^㉔
港北	岸根 ^⑱ 、日吉西 ^⑲ 、大倉山 ^㉑ 、高田 ^㉒ 、箕輪 ^㉓
緑	霧が丘 ^⑱ 、青砥 ^㉑
青葉	柿の木台 ^⑱ 、もみの木台 ^㉑ 、千草台 ^㉒ 、荏田西 ^㉓
都筑	勝田 ^⑱
戸塚	秋葉 ^⑳ 、南戸塚 ^㉑ 、名瀬 ^㉒
瀬谷	瀬谷 ^⑳ 、阿久和 ^㉑ 、宮沢 ^㉒ 、下瀬谷 ^㉓ 、細谷戸 ^㉔